

27 茶支援関連対策

【1, 566 (1, 405) 百万円】

対策のポイント

産地の戦略に基づく茶園の改植や整理等による生産体制の強化、新需要開拓等に向けた茶の生産・加工技術の導入、コスト低減に資する生産・加工機械のリース導入等を支援します。

<背景／課題>

- ・茶は、近年、価格の下落等により経営環境が厳しい状況にあるが、高品質の茶は安定した価格で取引されていることから、取引の単位である茶工場単位での高品質化の取組が必要となっています。
- ・また、リーフ茶の消費が減少傾向で推移する中で、新たな需要拡大に向けた取組が必要となっています。

政策目標

茶の輸出額の増加 (50.5億円 (平成24年) →150億円 (平成31年))

<主な内容>

1. 地域の戦略に基づく茶園の改植、整理等支援

茶産地の収益力の強化と農業者の経営安定を図る観点から、消費者等ニーズに対応した優良品種への転換や高品質化を加速化するため、茶工場単位等で策定された品質向上戦略に基づき実施する新植・改植、改植に伴う未収益期間、担い手への集積等に伴う茶園の整理、抹茶等への栽培方法の転換を行うための整備等に対し支援を行います。

また、改植費用の上昇等を踏まえ、改植単価及び未収益期間支援の単価を改定します。

補助率：定額
事業実施主体：農業者等の組織する団体

2. 国産茶の需要拡大に向けた取組支援

国内外マーケット調査やマーケット創出のための生産・加工技術の導入、新たな茶種の栽培・加工等の取組を支援します。

補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：農業者等の組織する団体

3. 生産コストの低減、生産体制強化への取組支援

燃油価格の高騰や凍霜害に対応した生産体制への転換等を促進するため、省エネ等コスト低減に資する生産・加工機械及び防霜ファン等のリース導入を支援します。

補助率：1/2以内
事業実施主体：農業者等の組織する団体

[お問い合わせ先：生産局地域対策官 (03-6744-2117)]

茶の高品質化・需要拡大に向けた生産体制の強化支援

- 茶については、近年、荒茶価格の低迷により経営環境が厳しい状況。特に、一部の低品質な荒茶が全体の品質を押し下げていることが価格下落の要因の一つ。
- 一方、高品質の茶は安定した価格で取引されていることから、安定した価格での国内需要の維持・拡大等を図るため、取引の単位である茶工場単位等での改植促進等による生産性、品質向上による取引等を支援することが必要。
- また、需要拡大に向けた取組を支援することが必要。

地域の戦略に基づく茶園の改植、整理等支援

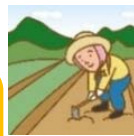
- 茶工場単位を基本とする茶生産者グループにおいて、販売方針、品種の転換や担い手への集積方針、栽培方法等を内容とした「品質向上戦略」を策定。
- 品質向上戦略に基づき実施する以下の取組を支援。

茶生産者グループ



品質向上戦略

- ・需要を見据えどのような茶を生産するか
- ・誰が生産を担うか
- ・茶工場単位でどう改植を進めるか など



改植の実施、
新技術の導入等

・担い手による栽培技術の平準化、茶樹の若返り等による生産性・品質の向上



高品質
安定生産
の実現

経営の安定
↑
安定価格による取引

- ①改植、移動改植：22万円/10a
 - ②改植に伴う未収益期間への支援：18万円/10a（他品種への改植は22万円/10a）
 - ③新植：17万円/10a
 - ④担い手への集積等に伴う茶園整理：5万円/10a
 - ⑤棚栽培への転換：4万円/10a
 - ⑥棚栽培への転換に必要な資材費：10万円/10a
 - ⑦台切り：7万円/10a
- (①と②、⑤と⑥は同時に取り組むことが可能)

国産茶の需要拡大に向けた取組支援

- ・減農薬栽培に向けた防除機械等の導入
- ・半発酵茶（烏龍茶）、発酵茶（紅茶）
や^{いちようか}萎凋香を発生させる加工機械等の導入
- ・市場調査

萎凋処理による香りを
発現させる加工技術

低温除湿萎凋(15℃18時間)



サイクロン式害虫
吸引機械



生産コストの低減、生産体制強化への取組支援

- ・省エネ型加工機械のリース導入
- ・産地の気象条件等に応じた生産体制を構築するための防霜ファンなどの導入



そじゅうき
省エネ型粗揉機